

2026 年 量子物性若手交流研究会 スケジュール 決定版

初日 (8月26日 水曜日)

12:45 - 13:00, 開会の挨拶 山本 大輔 (日本)
挨拶の後に各自の簡単な自己紹介

セッション1 座長 武上 響生 (京都)

13:00 - 13:30, 発表者1 中澤 翔 (日本)
量子ビット多体系におけるスパイラル量子状態トモグラフィ

13:30 - 14:00, 発表者2 吉本 康晟 (近畿)
長距離相互作用を持つXYモデルにおける熱および量子ゆらぎの効果の解析に向けて

14:00 - 14:30, 発表者3 三原 貫太 (東理)
冷却ボース気体におけるジョセフソンダイオード効果の理論解析に向けて

14:30 - 14:45, 自由議論

セッション2 座長 山根 輝也 (日本)

14:45 - 15:15, 発表者4 海野 佑斗 (日本)
鎖間相互作用によるカイラルソリトン格子への影響

15:15 - 15:45, 発表者5 内藤 輝真 (東理)
SU(2) strong-to-weak spontaneous symmetry breaking における動的相転移の解析に向けて

15:45 - 16:15, 発表者6 田澤 秀真 (近畿)
Rydberg 原子を用いた量子コンピュータにおける量子誤り訂正の紹介
ー2D カラーコードの理解と実験的な実装方法についてー

16:15 - 16:30, 自由議論

セッション3 座長 前半 田中 愛梨 (近畿)、後半 西澤 良彌 (奈良先)

16:15 - 16:45, 発表者7 飯沼 泰楽 (日本)
Orbifold 化による Holographic CFT の設計と Hawking-Page 相転移

17:00 - 17:30, 発表者8 水野 杏優 (東理)
Zig-zag XXZ 模型における漸近的量子多体傷跡状態の構成に向けて

17:30 - 17:35, 5分休憩

17:35 - 18:05, 発表者9 川崎 大生 (近畿)
長距離相互作用を有するXYモデルにおける集団励起

18:05 - 18:35, 発表者10 徳植 功太郎 (日本)
空間配置エントロピーによる測定誘起相転移の解析

18:45 - 20:00, 夕食

二日目 (8月27日 木曜日)

セッション4 座長 前半 立花 千拓 (日本)、後半 山根 輝也 (日本)

08:50 - 09:20, 発表者 11 北島 海 (日本)

一次元格子模型によるブラックホール時空の量子シミュレーション

09:20 - 09:50, 発表者 12 高山 英梨 (京都)

有機ディラック電子系 α -(BEDT-TTF)₂I₃における磁場下の量子輸送現象

9:50 - 10:20, 発表者 13 小林 麟太郎 (近畿)

光格子中の冷却原子系における量子クエンチ後の相関伝搬速度の有限温度解析に向けて

10:20 - 10:30, 自由議論

セッション5 座長 浅利 友貴 (東理)

10:30 - 11:00, 発表者 14 佐藤 慎太郎 (日本)

CsCuCl₃の Néel 温度圧力依存性の再現に向けた有限温度クラスター平均場計算

11:00 - 11:30, 発表者 15 清水 美結 (東理)

Rydberg 原子系での量子シミュレーションに向けた交替磁性体における
スピン波ダイナミクスの解析

11:30 - 12:00, 発表者 16 小鹿 達也 (東電)

励起子秩序を伴う交替磁性体における非相対論的ピエゾ磁気効果

12:00 - 13:00, 昼食

13:00 - 17:30, 自由議論

17:30 - 20:00, 情報交換会

三日目 (8月28日 金曜日)

セッション6 座長 笹本 大樹 (東北)

08:40 - 09:10, 発表者 17 橋本 大輝 (東理)

Spin-1 XY 模型の additional quantum many-body scar における親ハミルトニアン
のギャップレス励起と漸近的量子多体傷跡状態

09:10 - 09:40, 発表者 18 立花 千拓 (日本)

エンタングルメントアシンメトリーを用いた Stark 多体局在における
創発的保存量の解析

09:40 - 10:10, 発表者 19 田中 愛梨 (近畿)

板状障害物後方における超流動伴流のダイナミクス

10:10 - 10:25, 自由議論

セッション7 座長 小田川 晴睦 (分子研)

10:25 - 10:55, 発表者 20 西澤 良彌 (奈良先)

振動強結合下における深共晶溶媒のイオン伝導度評価

10:55 - 11:25, 発表者 21 栗木 輝 (東理)

二成分 Fermi 気体の超流動相においてポテンシャル障壁に誘起される
Higgs 束縛状態

11:25 - 11:55, 発表者 22 山根 輝也 (日本)

量子効果が導くスピングャップ磁性体の磁化曲線の線形化

12:00 - 13:00, 昼食

セッション8 座長 栗木 輝 (東理)

13:00 - 13:30, 発表者 23 浅利 友貴 (東理)

Dicke 状態からの量子多体傷跡状態および漸近的量子多体傷跡状態の
統一的準備

13:30 - 14:00, 発表者 24 小田川 晴睦 (分子研)

Development of a Neutral-Atom Quantum Computer in Okazaki

14:00 - 14:30, 発表者 25 山村 真太郎 (東理)

三値ポートフォリオ最適化問題における CVaR-QAOA の性能評価

14:30 - 14:45, 自由議論

セッション9 座長 橋本 大輝 (東理)

14:45 - 15:15, 発表者 26 百合 巧 (大阪)

イオントラップ系を用いた多体量子シミュレーションに向けた
ポテンシャル制御経路の探索と2ポラリトン束縛状態の観測

15:15 - 15:45, 発表者 27 武上 響生 (京都)

量子スピン系における磁場効果を取り入れたスピングリーン関数の
運動方程式による一般的な解析手法の構築

15:45 - 16:15, 発表者 28 笹本 大樹 (東北)

Schwinger-boson perturbation theory for spin-S Kitaev-Heisenberg magnets

16:15 - 16:30, 閉会の挨拶 段下 一平 (近畿)